

# 「生きる力」の具現化を図る各教科等を合わせた指導

## ～単元作成と学習評価に着目した授業づくり～



コバトン さいたまっち  
埼玉県のマスコット

### 改めて考えてみたい～各教科等を合わせた指導の授業づくり～

知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校（以下、知的障害特別支援学校）では、「各教科等を合わせた指導」が広く取り入れられ、数多くの優れた実践が行われています。

また、埼玉県特別支援教育教育課程編成要領（以下、編成要領）特別支援学校編【教育課程の編成】P53には、各教科等を合わせた指導は、「生きる力」の具現化を図る指導の形態であると書かれています。

このリーフレットは、「各教科等を合わせた指導」について、先生方がより効果的な授業が行えるよう、編成要領をもとに、「単元作成」と「学習評価」の視点に着目して解説します。

初任者のA先生  
（誠実で勉強熱心）



初任者指導のB先生  
（わかりやすい指導に定評がある）



## 1 各教科等を合わせた指導とは？



各教科等を合わせた指導とは  
特別支援学校で行われている「生単<sup>せいたん</sup>」とか「作業<sup>さぎょう</sup>」のことですよね？  
国語や算数・数学、音楽や美術とどう違うのでしょうか？

### 各教科等を合わせた指導とは？

各教科、道徳科、特別活動、自立活動、外国語活動の一部又は全部を合わせて指導を行う「指導の形態」の1つです。

### 知的障害のある児童生徒の学習上の特性

学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活場面の中で生かすことが難しい。

成功経験が少ないことなどにより、主体的に活動に取り組む意欲が十分育っていないことが多い。

抽象的な内容の指導よりも、実際的な生活場面の中で、具体的に思考や判断、表現できるようにすることが効果的。

知的障害のある児童生徒の学習上の特性や教育的対応を踏まえ、児童生徒の学校での生活を基盤とし、学習や生活の流れに即して学べるよう日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習、として実践されています。



学習指導要領に生活単元学習や作業学習などの目標や内容が示されていないのは、各教科等を合わせた指導は指導の形態の1つであるから、というわけですね！



「指導の形態」にはどのようなものがありますか？また、特別支援学校では必ず各教科等を合わせた指導を行わなければならないのでしょうか？

### 指導の形態とは？

知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校では、「教科別に指導を行う場合」、「道徳科、外国語活動、特別活動、自立活動の時間を設けて指導を行う場合」、「各教科等を合わせて指導を行う場合」と3つの「指導の形態」があります。

生活、国語、社会、算数・数学、理科、音楽、  
図画工作・美術、体育・保健体育、職業・家庭、  
外国語など

外国語活動、特別の教科 道徳、  
総合的な学習（探究）の時間、  
特別活動、自立活動

\*以前は「領域別の指導」と示されていました。

日常生活の指導、遊びの指導、  
生活単元学習、作業学習



### 各教科等を合わせた指導を行う場合とは？

\* 学校教育法施行規則第130条第2項

「特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる。」

「特に必要があるとき」

= 知的障害のある児童生徒の学習上の特性や教育的対応を踏まえ、  
学習や生活の流れに即して学んでいくことが効果的であると考えられるとき

どの「指導の形態」で指導することが有効であるかを授業時数との関連を図りながら、適切に設定することが必要です。

教育的ニーズに応じ「指導内容」を選択し、  
指導内容を「指導の形態」ごとに再編成する

「教科別の指導」や「各教科等を合わせた指導」は、学習指導要領の各教科等の目標や内容を適切に選択しながら、生活の課題に沿った具体的な指導内容を組織する必要があります。

児童生徒が学習したことを生活に生かしていけるように指導することが大切です。



各教科等を合わせて指導を行う場合も、教育課程の基準である学習指導要領に示された目標及び内容を着実に実施し、各教科等において育成を目指す資質・能力を確実に身に付けさせる視点が大切です！

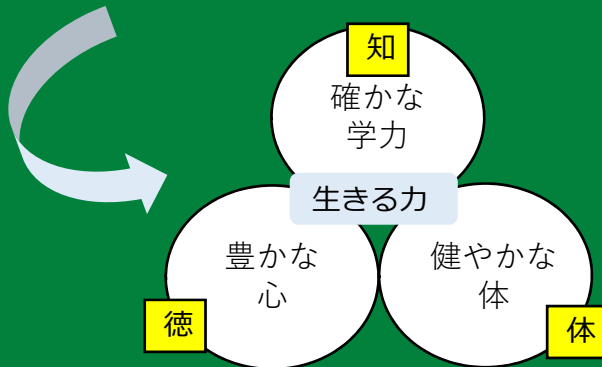
## 2 生きる力とは？



各教科等を合わせた指導においても、「各教科等において育成を目指す資質・能力の3つの柱」が大切だとわかりました。  
では、「育成を目指す資質・能力」と「生きる力」は関連するのでしょうか？

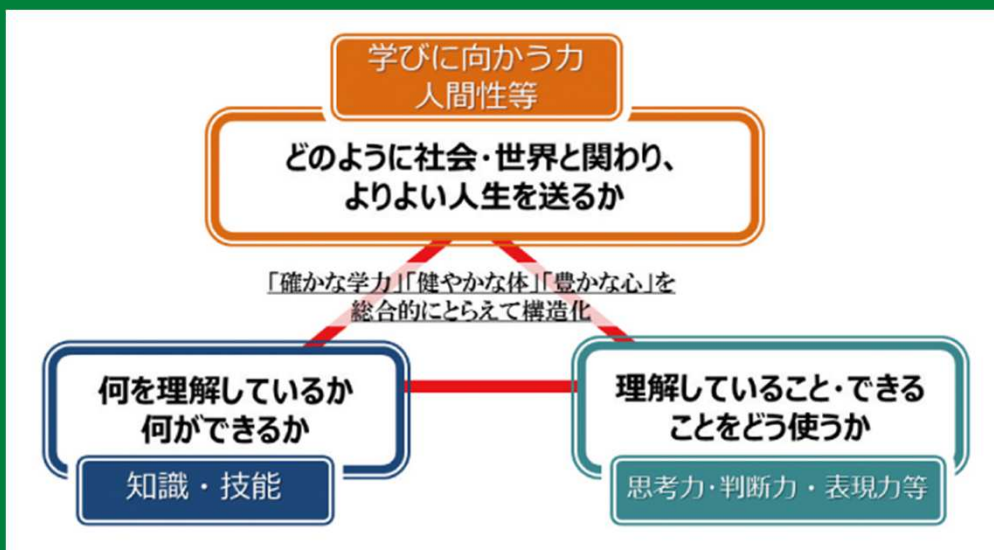
「育成を目指す資質・能力」と「生きる力」の関連は？

「生きる力」とは、「知・徳・体のバランスのとれた力」と言えます。



「知」とは「確かな学力」  
「徳」とは「豊かな心」  
「体」とは「健やかな体」  
を表しています。

育成を目指す資質・能力の3つの柱は、「生きて働く知識及び技能」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」、「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」と整理されています。



中央教育審議会『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）』（平成28年12月21日）の補足資料より

育成を目指す資質・能力は、「生きる力」を具体化したものと言えます。



資質・能力の3つの柱を育成することは、「生きる力」をはぐくむことにもつながるのですね！

### 3 単元作成とは？



「生きる力」をはぐくむという理念について、改めて考えさせられました。ところで、授業づくりを行うに当たっては単元作成が大事だと聞きました。単元についてはどのように考えたらよいのでしょうか？

#### 単元とは？

単元とは、各教科等において、一定の目標や主題を中心として組織された学習内容の有機的なまとまりのことです。

- ・ 1つの単元が2、3日で終わる場合もあれば、1学期間など長期にわたる場合もある。
- ・ 学校行事や季節的な行事などを取り上げる場合もある。

各教科等を合わせた指導の授業づくりには、各教科等の目標の系統性や内容の関連性に十分に配慮しつつ、各教科等の指導内容を、生活や活動の自然なまとまりに基づいて単元を計画し、生活や活動の系統性をもたせた授業を計画することが効果的です。



授業づくりにおいて、単元作成は重要なポイントになりますね！単元作成に当たっては、単元計画を作成することが大切だと思いますが、どのように計画すればよいのでしょうか？

#### 各教科等を合わせた指導における単元計画作成の手順について

##### 年間指導計画

##### 単元計画

- ・ 単元名
- ・ 単元目標
- ・ 個人目標
- ・ 取り扱う各教科の目標
- ・ 取り扱う各教科の内容
- ・ 育成を目指す資質・能力の3つの柱
- ・ 授業時数

- ・ 取り扱う各教科等の評価

- \* 年間指導計画を踏まえて作成する。
- \* 個別の指導計画、学習内容表、シラバスなどとの関連を図る。
- \* 生活や活動の自然なまとまりに基づいて各教科等の指導内容を設定する。
- \* 前の学年で取り組んだ単元を繰り返し設定する時は、児童生徒の生活年齢や経験に応じて、発展的な学習内容・活動を取り入れる。

- ・ 目標に準拠した評価
- ・ 3観点に基づく観点別学習状況の評価
- ・ 評価規準の作成
- ・ 評価計画



単元計画を作成する際には、指導だけではなく、取り扱う各教科等の「評価」の視点を取り入れる必要があるということです！

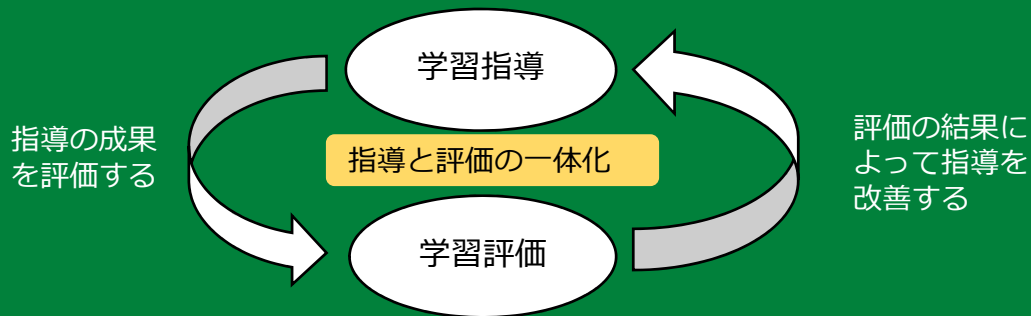
## 4 学習評価とは？



単元計画の作成は、評価の視点を取り入れることが大切だとわかりました。「学習評価の在り方が極めて重要」と聞きましたが、どのような意味ですか？

### 学習指導と学習評価について

「学習指導」と「学習評価」は、学校の教育活動の根幹です。学校の教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の中核です。



学習評価は、児童生徒が、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること、自ら学習の進め方を改善していくことができるよう指導・支援するという視点も重要です。



教師からの授業改善の視点だけでなく、学習者である児童生徒が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするためにも、学習評価は重要な意味があるということですね！



ところで、観点別学習状況の評価を行う際に大切な「評価規準」はどのように作成すればよいですか？

### 「評価規準」の作成について

学習指導要領の内容はそのまま学習指導の目標とすることができます。内容の記載事項の文末を変更したものが「内容のまとめりごとの評価規準」として示されています。

#### 各段階の目標及び内容（2）内容

知識及び技能： ～すること  
思考力、判断力、表現力等： ～すること  
学びに向かう力、人間性等： ～すること

#### 内容のまとめりごとの評価規準

知識・技能： ～している  
思考・判断・表現： ～している  
主体的に学習に取り組む態度：  
～しようとしている

\* 学びに向かう力、人間性等の内容は教科によっては明記されていない場合もあります



各教科等の「内容のまとめりごとの評価規準」から児童生徒の実態に応じた具体的な評価規準を作成すればよいのですね！

## 5 単元作成と学習評価に着目した授業づくり



各教科等を合わせた指導の授業づくりにおいて、単元作成と学習評価の視点から、押さえておかなければならないことを教えてください。

### 各教科等を合わせた指導の授業づくりのポイント

#### 学習指導要領の着実な実施

教育課程の基準として学習指導要領が定められています。  
各教科等を合わせた指導においても、学習指導要領を着実に実施することが必要です。

#### 各教科等の目標及び内容

#### 育成を目指す資質・能力

各教科等を合わせた指導を行うに当たって、  
どの各教科等の内容を指導し、どの目標を達成することになるのか、  
どのような資質・能力を育成することを目指すのか、明確にする必要があります。

#### 観点別学習状況の評価の実施

#### 評価規準の作成

目標に準拠した評価を行うため、取り扱う各教科等における資質・能力の3つの柱に  
基づく目標を設定し、3観点による評価を行います。そのためには、評価規準の作成  
が必要になります。

#### 年間指導計画や個別の指導計画との関連

年間における単元の配置や児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援について相互  
に検討し、評価・改善することが大切です。



観点別学習状況の評価についてもう少し詳しく教えてください。



### 観点別学習状況の評価とは？

各教科等の目標は育成を目指す資質・能力の3つの柱で整理されています。  
その目標に準拠した評価を行うため、観点別学習状況の評価については、  
「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で表します。

#### 育成を目指す資質・能力の3つの柱

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

#### 観点別学習状況の評価の3観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度  
\*感性、思いやりなど（個人内評価）



目標に準拠した評価を行うため、資質・能力の3つの柱と観点別評価の  
3観点は密接に関連しているということですね！





単元作成と学習評価に役立つ資料などがありましたら教えてください。

例えば、国立特別支援教育総合研究所作成の単元計画シートのような補助ツールの活用も考えられます。



## 単元計画シート

(学習指導要領を踏まえた単元計画の作成や学習評価を支援する補助ツール)

※   のセルはプルダウンより選択が可能

単元計画シート (各教科等を合わせた指導編) (案)

記入者 野比 太郎

1 単元の概要  
単元で取り扱う教科等の段階や内容を整理

1. 単元の概要 児童生徒の実態 (単元に関する各教科の実態を書く)

学部	小学部	学年・グループ	第5・6学年
【概要】児童生徒の実態や本単元の内容等について	第5・6学年の6名である(男児5名、女児1名)。教室では、それぞれがパズルをする、ブロックで遊ぶ、本を読む、などの好きな遊びをして楽しんでいることが多い。児童は道具を借りたいときには、「貸してください」「使っていいですか」などカードや言葉で伝えることができる。教員の誘いに応じて、かるたやすごろくなどで遊ぶ児童も数名見られている。プレイルームや体育館、校庭では、トランポリンやアスレチックなどの遊具、平均台やボールなどの遊具を使って遊ぶ姿が見られる。また、共通の好みの遊びがあれば、「入れて」「〇〇さん、一緒にやろう」などと声をかけたり、それに応じたりする児童の姿が増えてきている。以上のことから、小学部の生活(遊び)や体育(走・跳の運動)、国語(聞くこと・話すこと、読むこと、書くこと)等の目標や内容を踏まえて、遊びの指導として「おにごっこをしよう」という単元を設定した。		

2 単元目標  
育成を目指す資質・能力の3つの柱に沿って設定

単元名	おにごっこをしよう			指導の形態	遊びの指導
取り扱う・教科・段階・内容の整理	教科	取り扱う教科	段階	内容	育成を目指す資質・能力
小学部_生活	3段階	エ 遊び	(イ)	きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けること(知識及び技能)	
小学部_国語	3段階	A 聞くこと・話すこと	イ	経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること(思考力、判断力、表現力等)	
小学部_体育	3段階	C 走・跳の運動	ウ	きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする(学びに向かう力、人間性等)	

3 評価基準  
単元目標に準拠し、3観点により作成

2. 単元目標 学習指導要領の内容を踏まえて、単元目標を設定する

知識及び技能	おにごっこには役割やきまりがあることが分かり、友達と協力したり、きまりを守ったりして遊ぶことができる。
思考力、判断力、表現力等	自分で考えたり工夫したりしたことを自分なりの表出方法で友達に伝えることができる。
学びに向かう力、人間性等	友達とかわりをもちながら仲良く遊んだり、自ら遊びに取り組んだりすることができる。

4 単元目標  
(評価計画)  
評価計画として、評価対象となる教科等及び内容を明確化

3. 評価規準 単元目標に準拠する形で評価規準を作成する

知識・技能	おにごっこには役割やきまりがあることが分かり、友達と協力したり、きまりを守ったりして遊んでいる。
思考・判断・表現	自分で考えたり工夫したりしたことを自分なりの表出方法で友達に伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	友達とかわりをもちながら仲良く遊んだり、自ら遊びに取り組もうとしている。

4. 単元計画(評価計画) 学習内容に合わせてどの観点を評価するかを記入する

時数	日	主な学習活動	取り扱う教科の内容と評価する場面			自立活動 ※自立活動の指導目標との関連がある場合
			生活	国語	体育	
1	5/18	思い出そう	エ 遊び	A 聞くこと・話すこと		
2	5/19	おにごっこをしよう①			C 走・跳の運動	<input type="checkbox"/> 健康の保持
3	5/20	調べてみよう		A 聞くこと・話すこと		<input checked="" type="checkbox"/> 心理的な安定 (C、E)
4	5/21	おにごっこをしよう②			C 走・跳の運動	<input checked="" type="checkbox"/> 人間関係の形成 (C、E、F)
5	5/24	好きなおにごっこを遊ぼう①			C 走・跳の運動	<input type="checkbox"/> 環境の把握
6	5/25	好きなおにごっこを遊ぼう②			C 走・跳の運動	<input type="checkbox"/> 身体の動き
7	5/26	ルールを考えよう		A 聞くこと・話すこと		<input type="checkbox"/> コミュニケーション
8	5/27	だるまさんがころんだをしよう①			C 走・跳の運動	
9	5/28	役割を交代しよう			C 走・跳の運動	
10	5/29	だるまさんがころんだをしよう②			C 走・跳の運動	

5 個別の達成状況  
単元のまとめを通  
して、計画段階で取  
り扱う教科等の内容  
の観点別学習状況の  
評価を実施

5. 個別の達成状況 評価 ◎：十分に達成できた ○：概ね達成できた △：達成できなかった（支援や活動の見直しが必要）

児童生徒名	評価につながる具体的な様子（※各教科等の状況についても記載する）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
A	生活	きまりを守って友達と仲良く遊ぶことができた。	◎		
	国語	イラストカードの中から「これ」と言って一つ選択することができた。		◎	
	体育	自分から友達を追いかけ走る様子が見られた。			◎
単元を通して：おにごっこ等のきまりを理解し、友達と仲良く遊ぶことができた。					
B	生活	友達と仲良く遊ぶことができた。	◎		
	国語	積極的にやりたい遊びを発表する様子が見られた。		○	
	体育	たくさんの友達を捕まえようと時間内工夫して走っていた。			◎
単元を通して：おにごっこ等のきまりや遊びたいことなど、友達に伝えることができた。					
C	生活	友達と追いつけっこをして、けんかをする場面も見られた。	△		
	国語	これまでに遊んだ追いつけっこを思い出さず発表することができた。発表は難しかった。		○	
	体育	自分から友達を追いかけ走る様子が見られた。			◎
単元を通して：友達とけんかをする場面もあったが、おむね落ち着いておにごっこで遊ぶことができた（心理的な安定、人間関係の形成）。					
D	生活	自分の立場を理解してスムーズに役割を切り替えることができた。	○		
	国語	「こおりおにをやりたい」と発表することができた。		◎	
	体育	鬼から逃げようと、時間内、精いっぱい走っていた。			◎
単元を通して：インターネットで検索して、だるまさんがころんだのきまりをワークシートに記入することができた。					
E	生活	友達と追いつけっこをして、けんかをする場面も見られた。	△		
	国語	これまでに遊んだ追いつけっこを思い出さず、教師や友達に伝えることができた。		◎	
	体育	鬼から逃げようと、時間内、精いっぱい走っていた。			◎
単元を通して：鬼に触れることを嫌がり、鬼をたたいてしまう場面もあったが、全力で走っている時間が長く見られた（心理的な安定、人間関係の形成）。					
F	生活	おにごっこの役割やきまりに関心を示さず、自分のペースで遊んでいた。	△		
	国語	やりたいおにごっこを3種類の絵カードから選ぶことができた。		◎	
	体育	走ろうとする意欲があまり見られず、ほぼ歩いてた。教師と一緒に走った。			○
単元を通して：おにごっこのルールを理解して遊ぶことは難しかったが、教師と一緒に参加することにより笑顔も多く見られた（人間関係の形成）。					

6 単元における  
総括的な評価  
評価計画として、評  
価対象となる教科等  
及び内容を明確化

6. 単元における総括的な評価

単元全体の評価、指導の評価、改善事項等
<p>小学部の生活や体育、国語の目標や内容を踏まえて、遊びの指導として「おにごっこをしよう」という単元を設定した。きまりを守って友達と仲良く遊ぶ、という生活の目標にはおおむね到達できた児童が多かった。単元を通して、これまで経験した遊びやおにごっこのきまりについて、検索や記入、発表の機会を設けることで国語の内容も取り扱うことができた。主体的に遊びに取り組めるように、ICT機器等も活用していきたい。</p>

※国立特別支援教育総合研究所 令和3～4年度障害種別特定研究  
「知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究」において作成  
ホームページ  
([https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability\\_list/intellectual/learningevaluation](https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability_list/intellectual/learningevaluation))



このようなツールを使えば単元作成の際に考えることが整理されそうですね！  
学習指導案や個別の指導計画とも関連させると効率的ですね！

他にも、学習指導要領の内容をまんべんなく指導する観点から、

- ・年間でそれぞれの指導の形態で取り扱う単元を一覧表にする
- ・各指導の形態における単元がどの教科や内容を取り扱っているのかを一覧表にする
- ・教科等ごとに小学部～高等部の12年間で指導する内容を計画表にする
- ・児童生徒が入学時から学んできた各教科等の内容をチェックする など

このような取組も行っている学校もあります。



それぞれの学校の特徴に応じたカリキュラム・マネジメントを確立して組織的・体系的に進めていくことが大切ですね！





## 6 星本（文部科学省著作教科書）について



国語や算数の授業で「星本」を活用して指導されている先生もいます。各教科等を合わせた指導においても、活用できるかと思うのですが「星本」について教えてください。

### 星本（文部科学省著作教科書）について

知的障害特別支援学校の小・中学部では、文部科学省著作教科書（通称 星本）または一般図書のいずれかが採択されています。

\* 学校教育法第34条、学校教育法附則第9条、教科書の発行に関する臨時措置法を参照

現在、文部科学省著作教科書は「国語」「算数・数学」「音楽」が発行されています。

\* 今後、新たに小学部の生活、中学部の社会、理科の星本も発行される予定です。

#### 小学部用

こくご☆  
こくご☆☆  
こくご☆☆☆

さんすう☆  
さんすう☆☆(1)(2)  
さんすう☆☆☆

おんがく☆  
おんがく☆☆  
おんがく☆☆☆

#### 中学部用

国語☆☆☆☆  
国語☆☆☆☆☆

数学☆☆☆☆  
数学☆☆☆☆☆

音楽☆☆☆☆  
音楽☆☆☆☆☆



☆は小学部1段階  
☆☆は小学部2段階  
☆☆☆は小学部3段階

☆☆☆☆は中学部1段階  
☆☆☆☆☆は中学部2段階  
の主な内容が取り扱われています。



星本にはそれぞれ「教科書解説」も作成されていると聞きましたが。。

### 星本の教科書解説について

星本にはそれぞれ「教科書解説」が作成されています。

- 1 本題材に関連する、学習指導要領の主な内容
- 2 題材について
- 3 学習指導例（こくご☆～☆☆☆には他の教科等との関連も記述されている）
- 4 指導上の留意点

などが記載されていますので、学習指導要領に示されている内容との関連が明確な授業づくりを行うことができます。

各教科等を合わせた指導における題材の取り扱い方についても例が示されています。ぜひ、多くの先生方に教科書解説を参照し、各学校の特色や児童生徒の実態に応じた活用をしてほしいと思います。



星本やその教科書解説は、各教科等を合わせた指導においても授業づくりの際の大きな手立てになりますね！

## 振り返り～各教科等を合わせた指導の授業づくり～



B先生、これまで各教科等を合わせた指導についていろいろと教えていただきありがとうございました。B先生の教えるをノートにまとめてみました！

### 「生きる力」の具現化を図る各教科等を合わせた指導 ～単元作成と学習評価に着目した授業づくり～ まとめ



- 1 日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習は、各教科等を合わせた指導という「指導の形態」の1つである。
- 2 各教科等を合わせた指導を行う場合も、学習指導要領に示された各教科等の内容及び目標を踏まえて授業を行い、取り扱う各教科等の視点で学習評価を行う。
- 3 資質・能力の3つの柱を育成することは、「生きる力」をはぐくむことにもつながる。（知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等）
- 4 単元計画を作成する際には、評価の視点を取り入れる（評価計画を作成する）。
- 5 目標に準拠した評価を行うため、資質・能力の3つの柱と観点別評価の3観点は密接に関連している。
- 6 学習指導と学習評価はカリキュラム・マネジメントの中核である。
- 7 教師からの授業改善の視点だけでなく、学習者である児童生徒が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするためにも、学習評価は重要である。
- 8 学習指導要領に示されている「各段階の目標及び内容（2）内容」の文末を変換すると「内容のまとめりごとの評価規準」が作成できる。
- 9 文部科学省著作教科書（星本）やその教科書解説は、各教科等を合わせた指導においても授業づくりの際に大きな手立てになる。

各教科等を合わせた指導の授業づくりについて、よく勉強されましたね。  
さらに、理解を深めるためには、「学習指導要領」や「編成要領」はもちろんのこと、次の資料も読まれるとよいですよ。

- 埼玉県「特別支援教育」のページ
- 埼玉県総合教育センター「特別支援教育」のページ
- 特別支援学校小学部・中学部 学習評価参考資料（文部科学省）

【発行】 埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課  
TEL:048-830-6880  
FAX:048-830-4960 <令和6年3月発行>

#### 資料リンク



コバトン さいたまっち  
埼玉県のマスコット

